

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


ポイント

- 必ずこの説明書を本体編（E273）の作業を行なう前に確認し、必要な事前加工を行なってください。
- 施工は、本体編（E273）の取付け手順にしたがい、作業を行なってください。

<施工上のご注意>


注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

1. 基本寸法

1-1 ルームタイプの場合

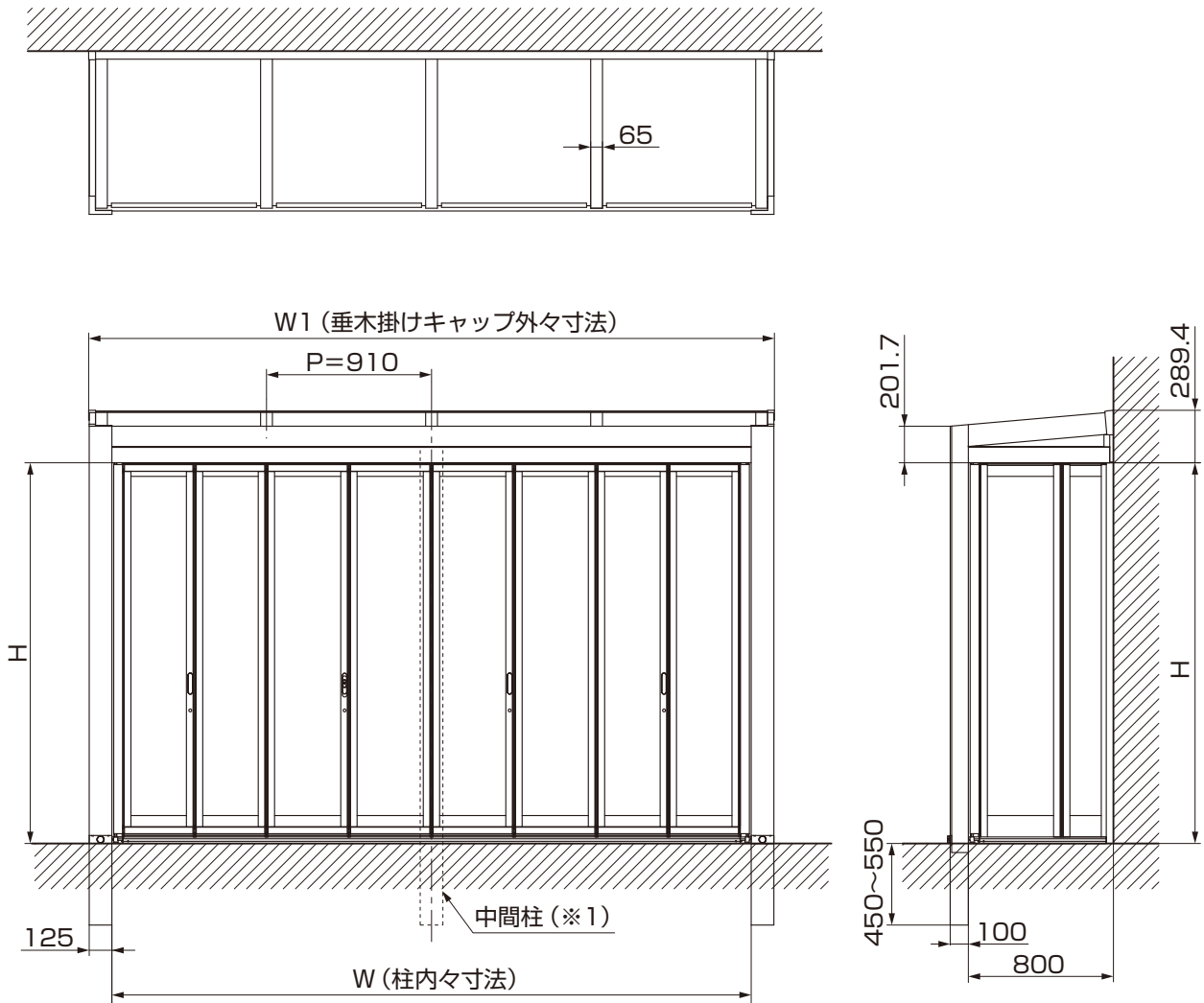


表 1-1 間口寸法

	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	2615	3525	4435	5345
W1	2871	3781	4691	5601

表 1-2 高さ寸法

	H21	H23	H25
H	2100	2300	2500

警告

- 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合は、強度が不足するため、必ず中間柱を使用してください。(※1)

1-2 テラスタイプの場合（三角フィックスあり）

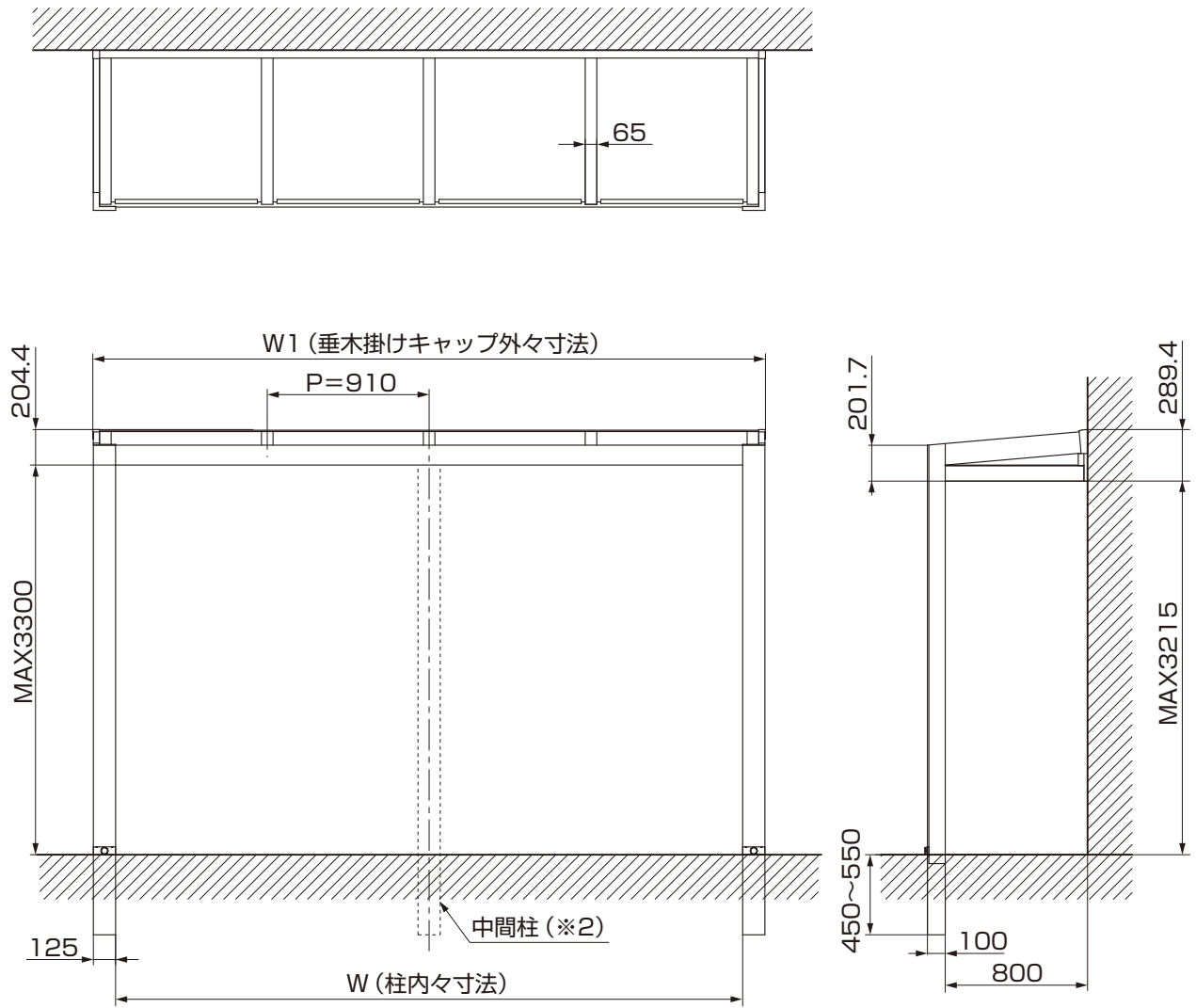


表 1-3 間口寸法

	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	2615	3525	4435	5345
W1	2871	3781	4691	5601

警告

- 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合は、強度が不足するため、必ず中間柱を使用してください。(※2)

1. (つづき)

1-3 連棟ルームタイプの場合

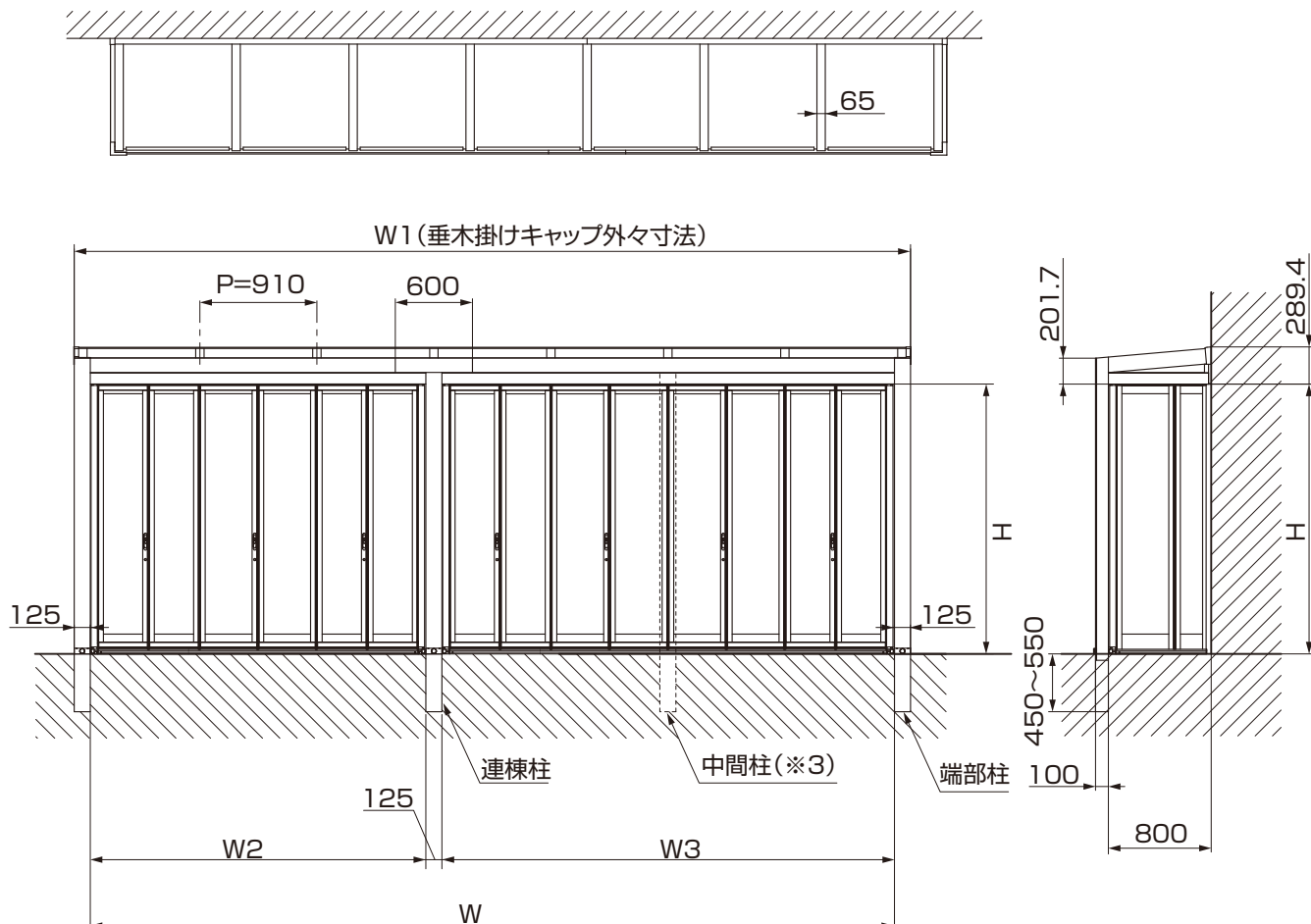


表 1-4 間口寸法

	W	W1	W2	W3
2.0間+1.5間=3.5間	6255	6511	3520	2610
2.5間+1.5間=4.0間	7165	7421	4430	2610
3.0間+1.5間=4.5間	8075	8331	5340	2610
2.5間+2.5間=5.0間	8985	9241	4430	4430
3.0間+2.5間=5.5間	9895	10151	5340	4430
3.0間+3.0間=6.0間	10805	11061	5340	5340

表 1-5 高さ寸法

	H21	H23	H25
H	2100	2300	2500

警告

- 端部柱と連棟柱の間隔が標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合は、強度が不足するため、必ず中間柱を使用してください。(※3)

1-4 連棟テラスタイプの場合（三角フィックスあり）

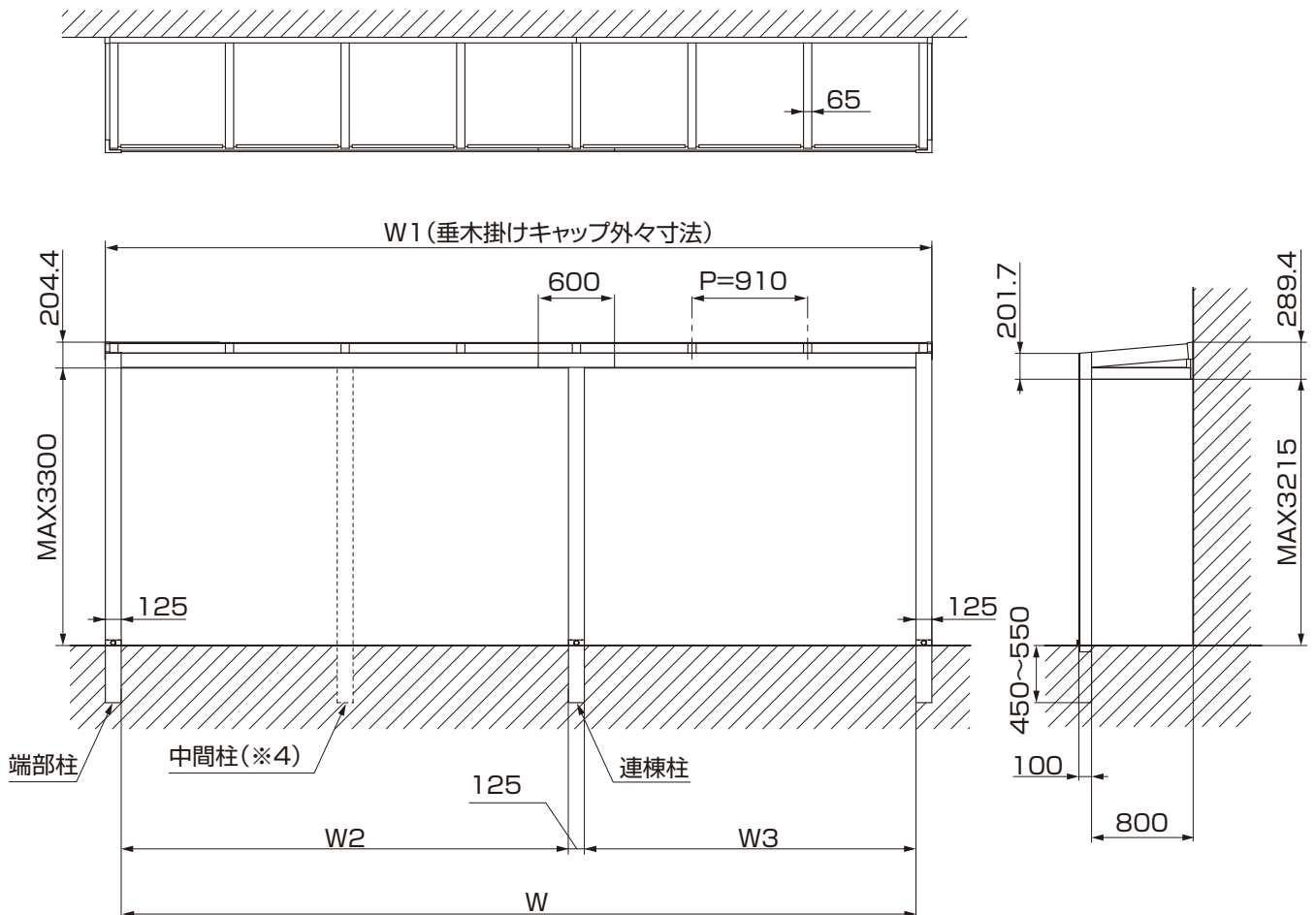


表 1-6 間口寸法

	W	W1	W2	W3
2.0間+1.5間=3.5間	6255	6511	3520	2610
2.5間+1.5間=4.0間	7165	7421	4430	2610
3.0間+1.5間=4.5間	8075	8331	5340	2610
2.5間+2.5間=5.0間	8985	9241	4430	4430
3.0間+2.5間=5.5間	9895	10151	5340	4430
3.0間+3.0間=6.0間	10805	11061	5340	5340

警告

●端部柱と連棟柱の間隔が標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合は、強度が不足するため、必ず中間柱を使用してください。（※4）

2. 基礎伏図

2-1 樹の木Ⅲ 内面立上げ仕様の場合

(1) 基本仕様の場合

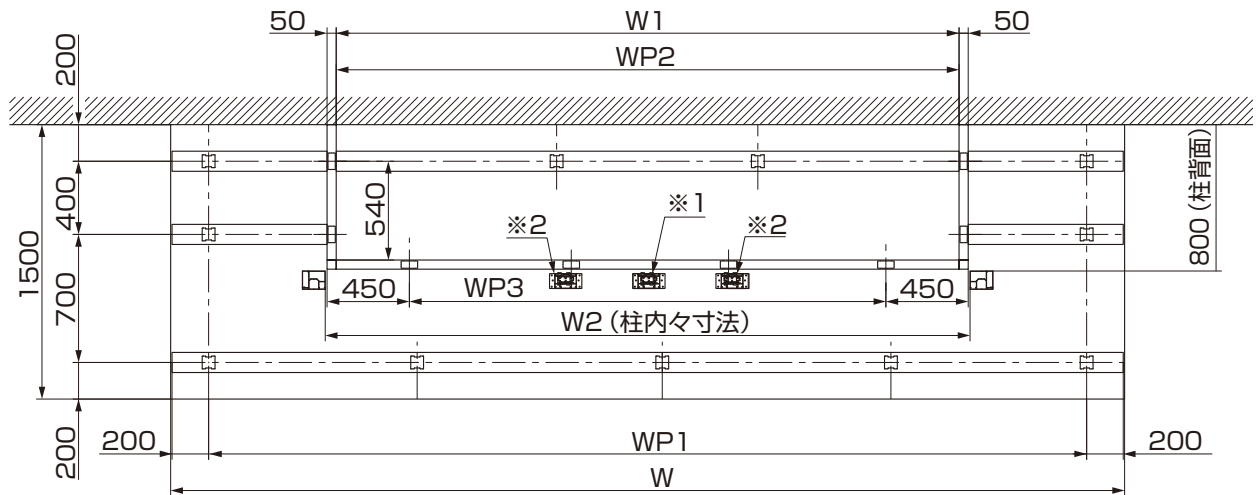


図2-1

表 2-1 間口寸法

	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)	WP3 (ピッチ)
1.5間	4315	2495	2615	3: 正面左側から 1360,1360,1180	2: 正面左側から 1247.5,1247.5	2: 正面左側から 847.5,847.5
2.0間	5215	3405	3525	4: 正面左側から 1140,1340,1250,1070	3: 正面左側から 1205,1100,1100	3: 正面左側から 885,860,860
2.5間	6115	4315	4435	4: 正面左側から 1590,1790,1250,1070	3: 正面左側から 1415,1450,1450	5: 正面左側から 715,700,700,700,700
3.0間	7015	5225	5345	4: 正面左側から 1590,1790,1700,1520	4: 正面左側から 1300,1302.5,1322.5,1300	5: 正面左側から 885,885,885,885,885

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合、中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみ、ジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

(2) 入隅仕様の場合

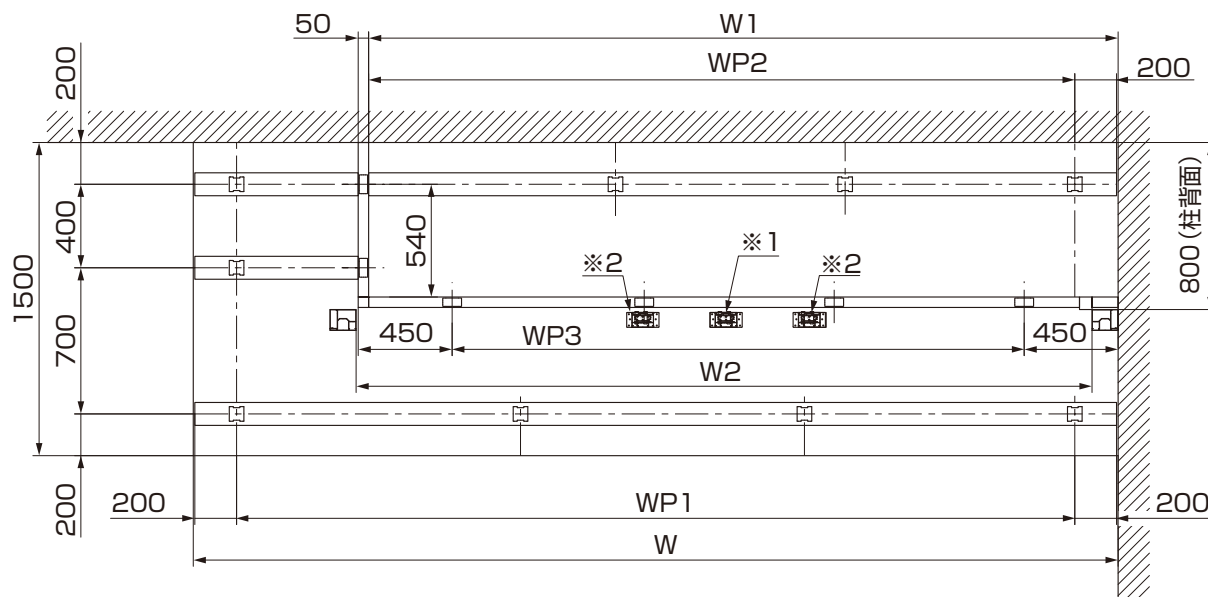


図2-2

表 2-2 間口寸法

	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)	WP3 (ピッチ)
1.5間	3525	2680	2615	2: 正面左側から 1590,1520	2: 正面左側から 1320,1152.5	2: 正面左側から 920,910
2.0間	4430	3590	3525	3: 正面左側から 1360,1360,1295	3: 正面左側から 1182.5,1100,1100	3: 正面左側から 920,910,910
2.5間	5330	4500	4435	4: 正面左側から 1140,1340,1250,1185	3: 正面左側から 1300,1277.5,1715	4: 正面左側から 920,910,910,910
3.0間	6240	5410	5345	4: 正面左側から 1590,1790,1250,1195	4: 正面左側から 1300,1277.5,1325,1300	6: 正面左側から 645,645,645,875,875,875

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合は、中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみ、ジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

2. (つづき)

2-2 ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト 内面立上げ仕様の場合

(1) 基本仕様の場合

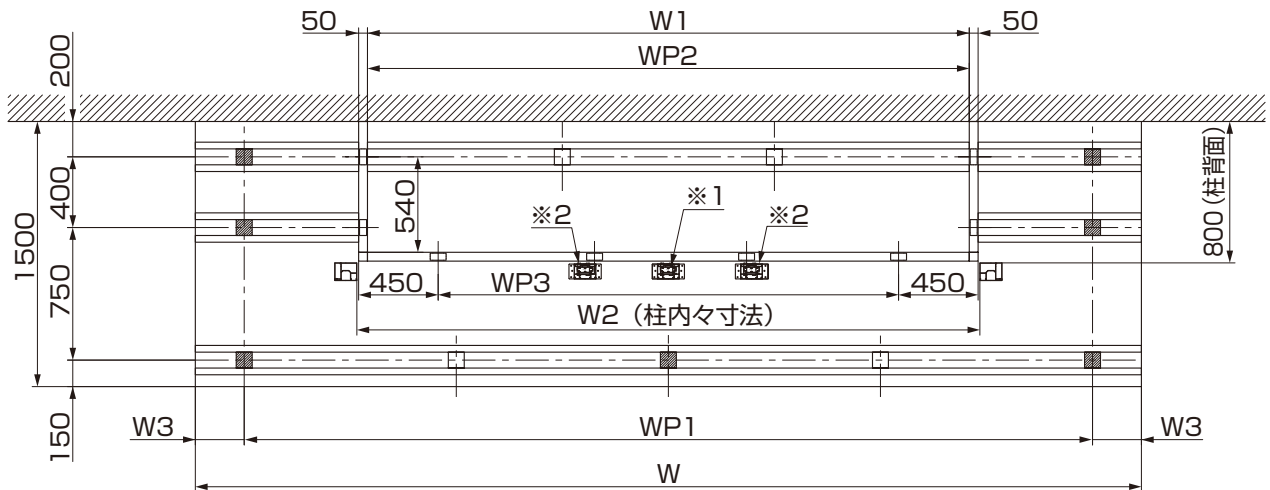


図2-3

表 2-3 間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1 (ピッチ)
1.5 間	4507	2495	2615	153.5	4 : 正面左側から 1050、1050、1050、1050
2.0 間	5353	3405	3525	276.5	4 : 正面左側から 1200、1200、1200、1200
2.5 間	6340	4315	4435	220	5 : 正面左側から 1150、1200、1200、1200、1150
3.0 間	7186	5225	5345	193	6 : 正面左側から 1000、1200、1200、1200、1200、1000
	WP2 (ピッチ)			WP3 (ピッチ)	
1.5 間	3 : 正面左側から 722.5、1050、722.5			2 : 正面左側から 847.5、847.5	
2.0 間	3 : 正面左側から 1102.5、1200、1102.5			3 : 正面左側から 885、860、860	
2.5 間	5 : 正面左側から 850、850、915、850、850			5 : 正面左側から 715、700、700、700、700	
3.0 間	6 : 正面左側から 870、870、872.5、872.5、870、870			5 : 正面左側から 885、885、885、885、885	

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。
- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合は、中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみ、ジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

(2) 入隅仕様の場合

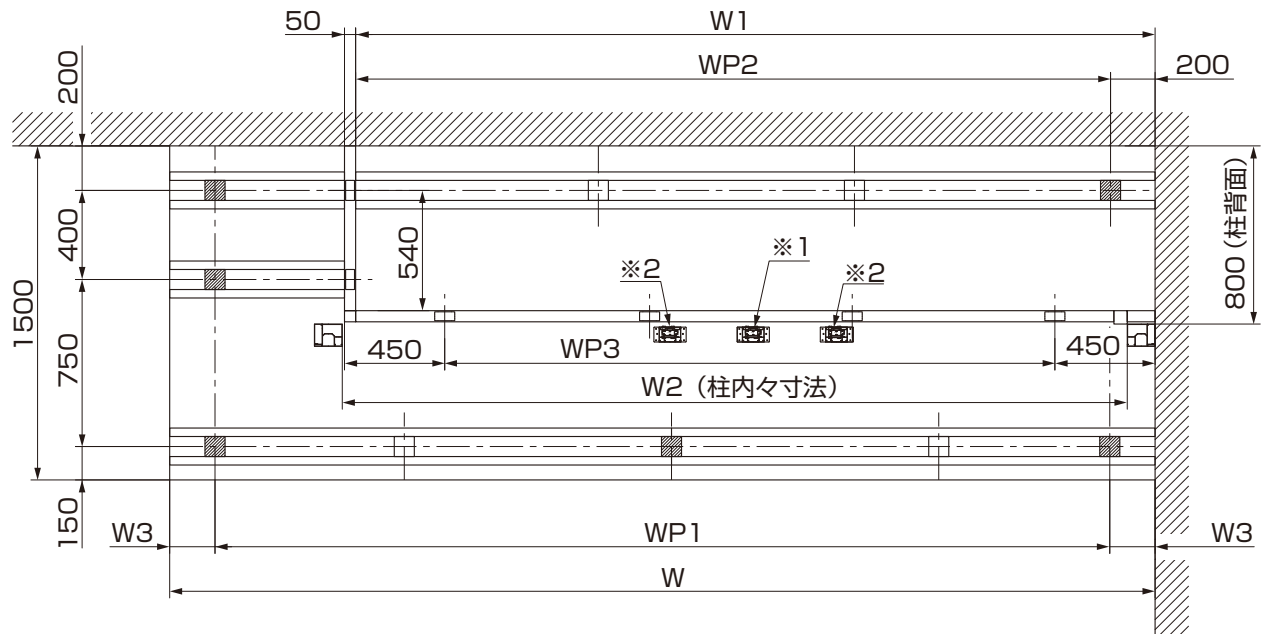


図2-4

表 2-4 間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1 (ピッチ)
1.5 間	3509	2680	2615	130.5	3 : 正面左側から 1100、1200、948
2.0 間	4425	3590	3525	203.5	4 : 正面左側から 850、1200、1200、768
2.5 間	5456	4500	4435	247	5 : 正面左側から 700、1200、1200、1200、662
3.0 間	6275	5410	5345	220	5 : 正面左側から 1150、1200、1200、1200、1085
	WP2 (ピッチ)			WP3 (ピッチ)	
1.5 間	3 : 正面左側から 830、825、825			2 : 正面左側から 920、910	
2.0 間	3 : 正面左側から 1090、1150、1150			3 : 正面左側から 920、910、910	
2.5 間	4 : 正面左側から 1000、1100、1100、1100			4 : 正面左側から 920、910、910、910	
3.0 間	5 : 正面左側から 1010、1050、1050、1050、1050			6 : 正面左側から 645、645、645、875、875、875	

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。
- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合は、中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみ、ジューマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

2. (つづき)

2-3 樹の木Ⅲ フラットデッキ仕様の場合

(1) 基本仕様の場合

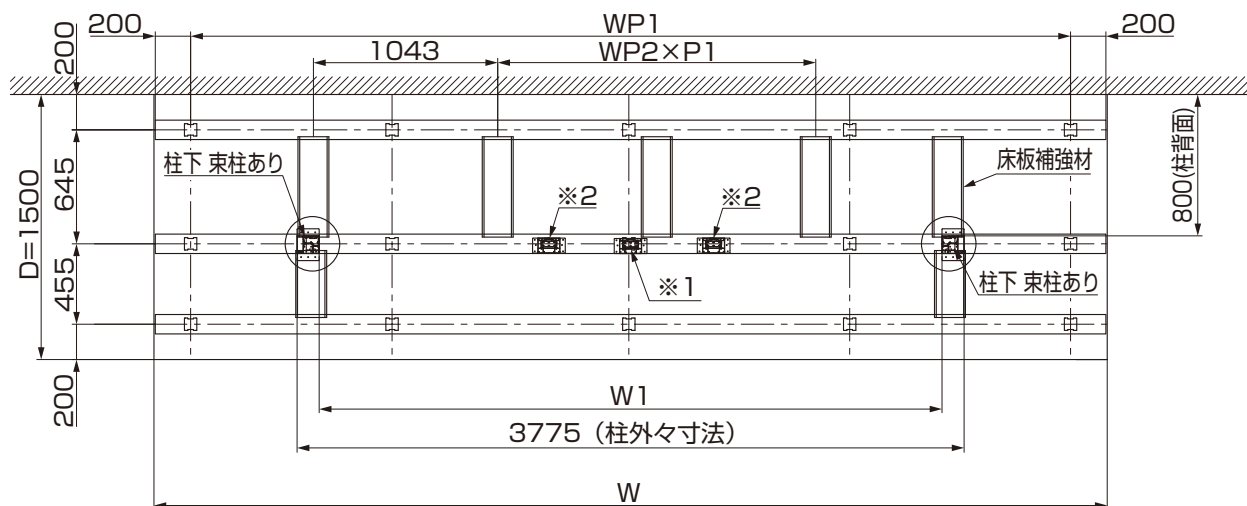


図2-5 基本納まりの場合

表 2-5 間口寸法

	W	W1	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)	P1
1.5 間	4495	2615	3 : 正面左側から 1360、1360、1360	1	900
2.0 間	5395	3525	4 : 正面左側から 1140、1340、1250、1250	2	900
2.5 間	6295	4435	4 : 正面左側から 1590、1790、1250、1250	3	900
3.0 間	7195	5345	4 : 正面左側から 1590、1790、1700、1700	4	900

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

(2) 入隅仕様の場合

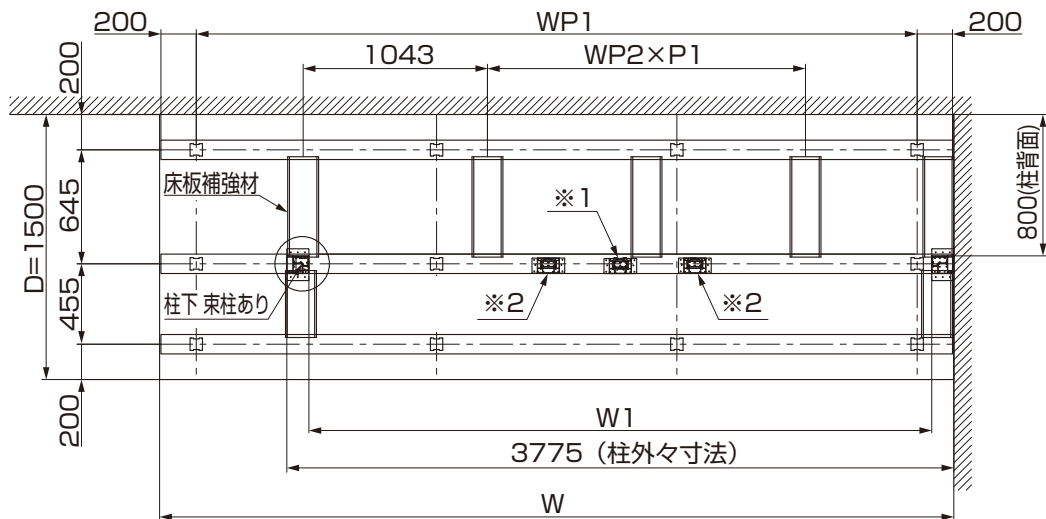


図2-6 基本納まりの場合

表 2-6 間口寸法

	W	W1	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)	P1
1.5 間	3590	2615	2 : 正面左側から 1590、1590	1	900
2.0 間	4495	3525	3 : 正面左側から 1360、1360、1360	2	900
2.5 間	5395	4435	4 : 正面左側から 1140、1340、1250、1250	3	900
3.0 間	6295	5345	4 : 正面左側から 1590、1790、1250、1250	4	900

ポイント

- ※ 1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※ 2積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

2. (つづき)

2-4 ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト 内面立上げ仕様の場合

(1) 基本仕様の場合

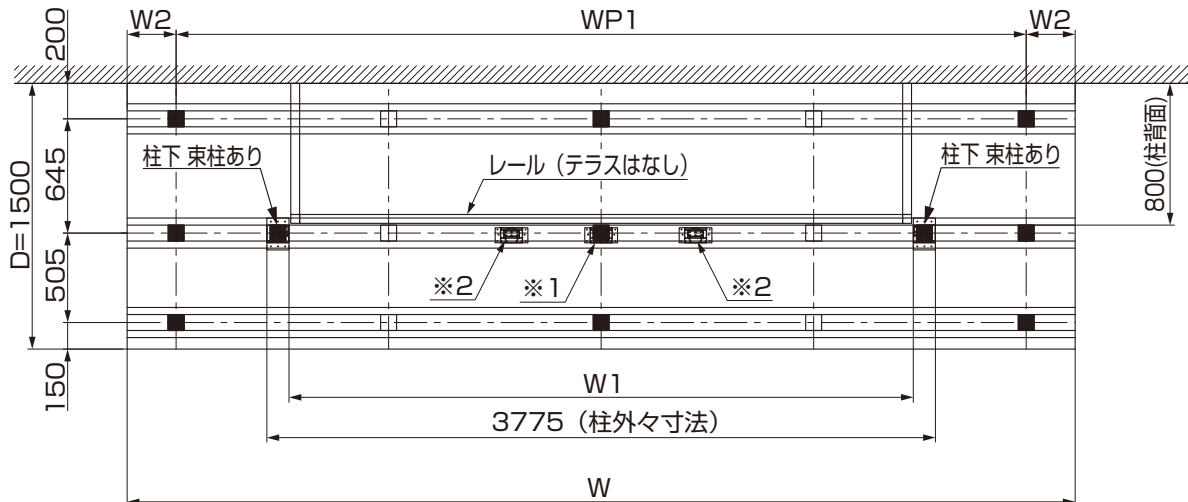


図2-7 基本納まりの場合

表 2-7 間口寸法

	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)
1.5 間	4507	2615	153.5	4 : 正面左側から 1050、1050、1050、1050
2.0 間	5353	3525	276.5	4 : 正面左側から 1200、1200、1200、1200
2.5 間	6340	4435	220	5 : 正面左側から 1150、1200、1200、1200、1150
3.0 間	7186	5345	193	6 : 正面左側から 1000、1200、1200、1200、1200、1000

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。
- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

(2) 入隅仕様の場合

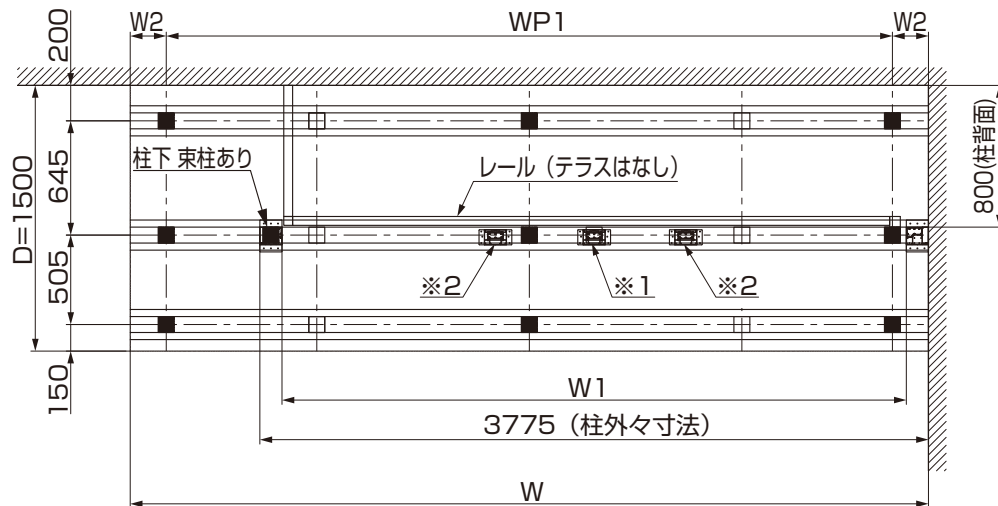


図2-8 基本納まりの場合

表 2-8 間口寸法

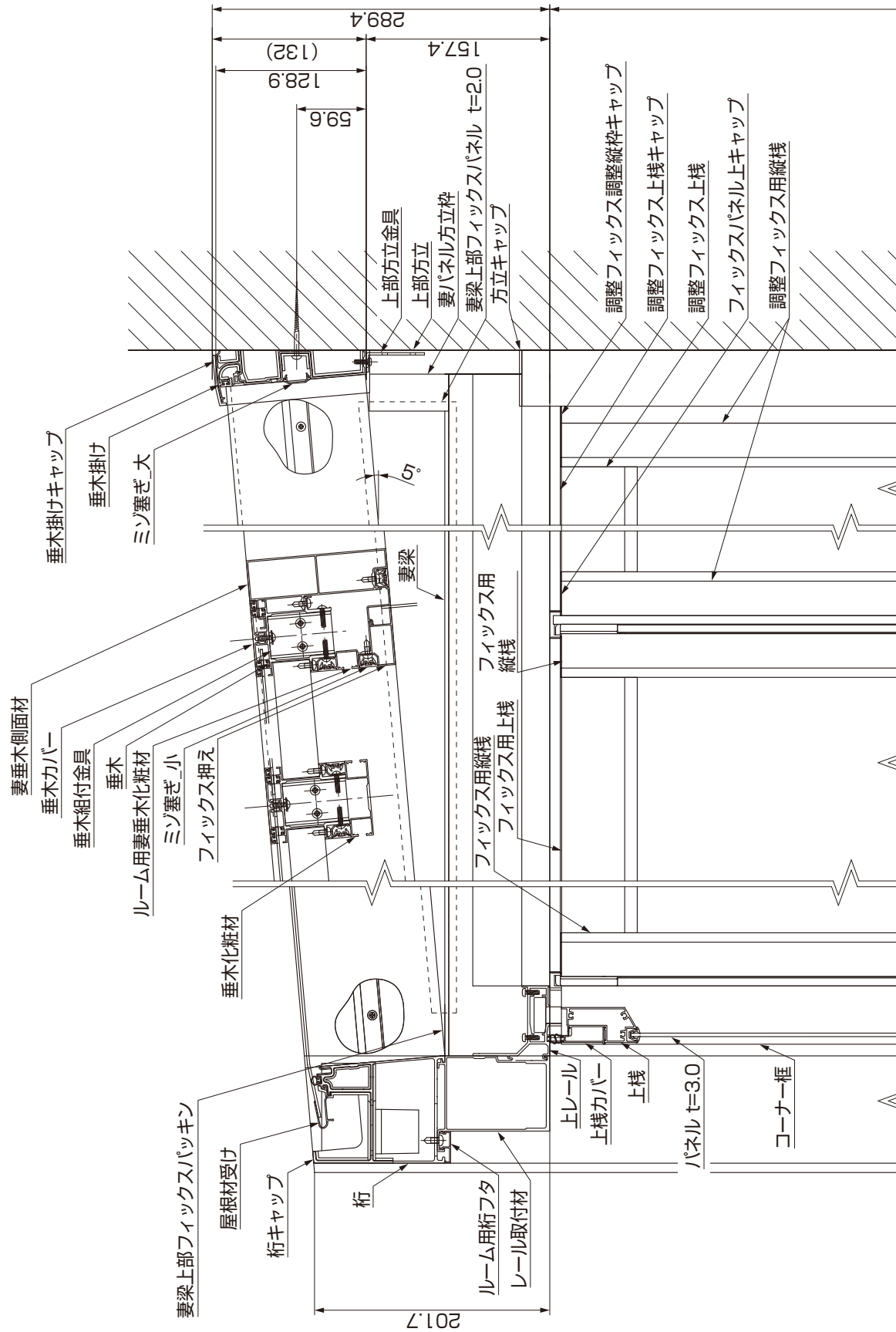
	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)
1.5 間	3661	2615	130.5	3 : 正面左側から 1100、1200、1100
2.0 間	4507	3525	203.5	4 : 正面左側から 850、1200、1200、850
2.5 間	5494	4435	247	5 : 正面左側から 700、1200、1200、1200、700
3.0 間	6340	5345	220	5 : 正面左側から 1150、1200、1200、1200、1150

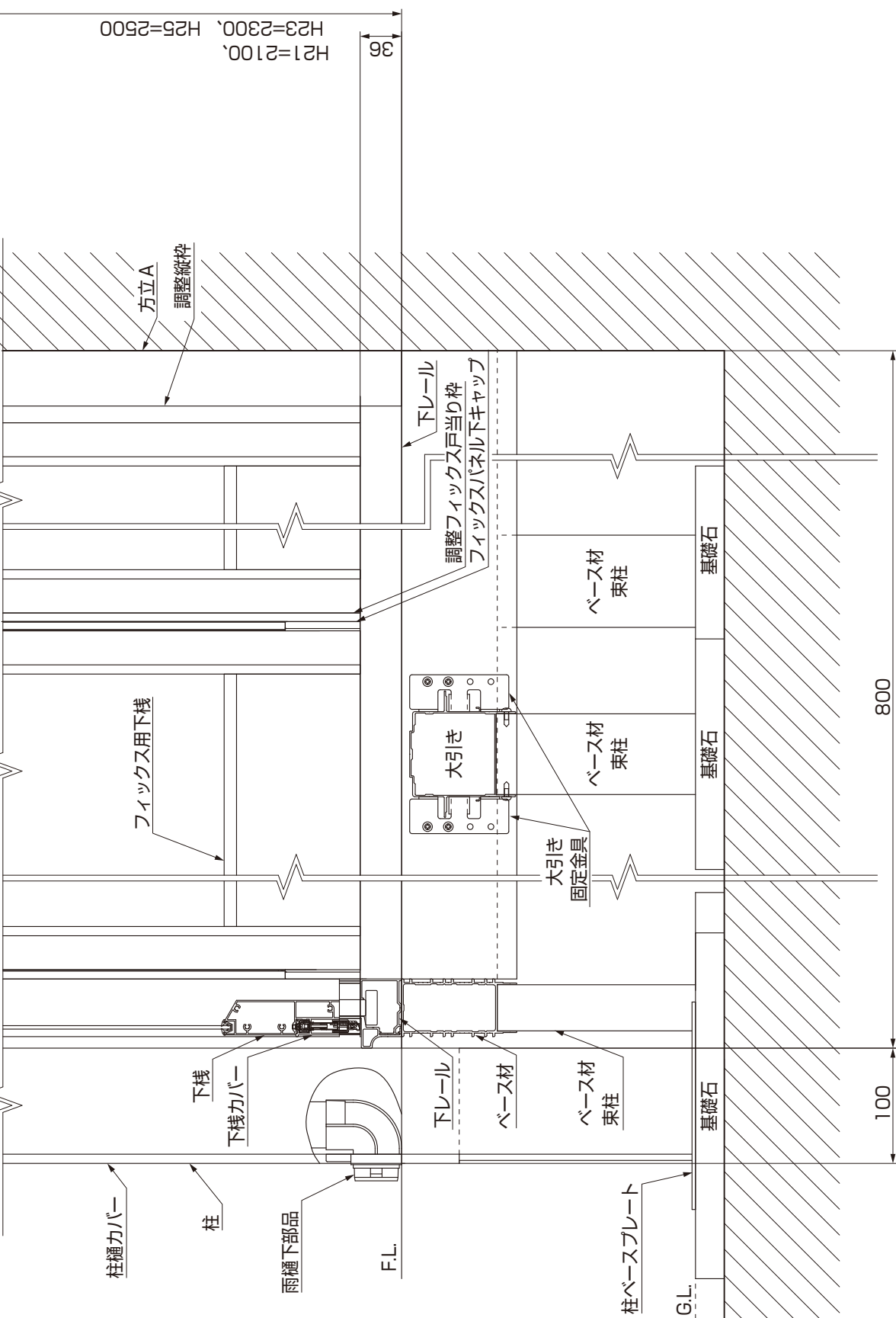
ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。
- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

3. 断面納まり図

3-1 ルームタイプ出幅断面納まり図 (デッキ_ガラスフィックスパネル)



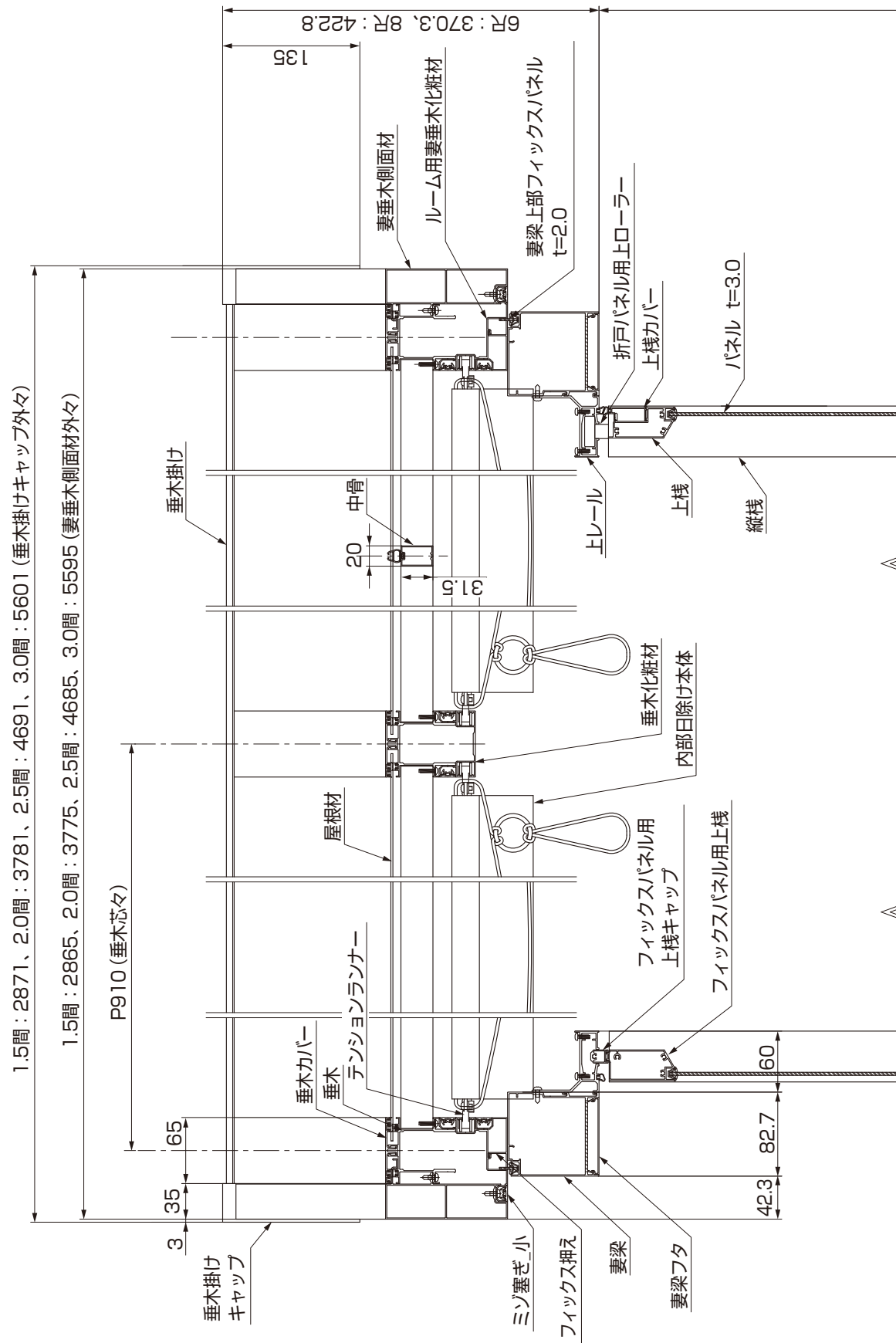


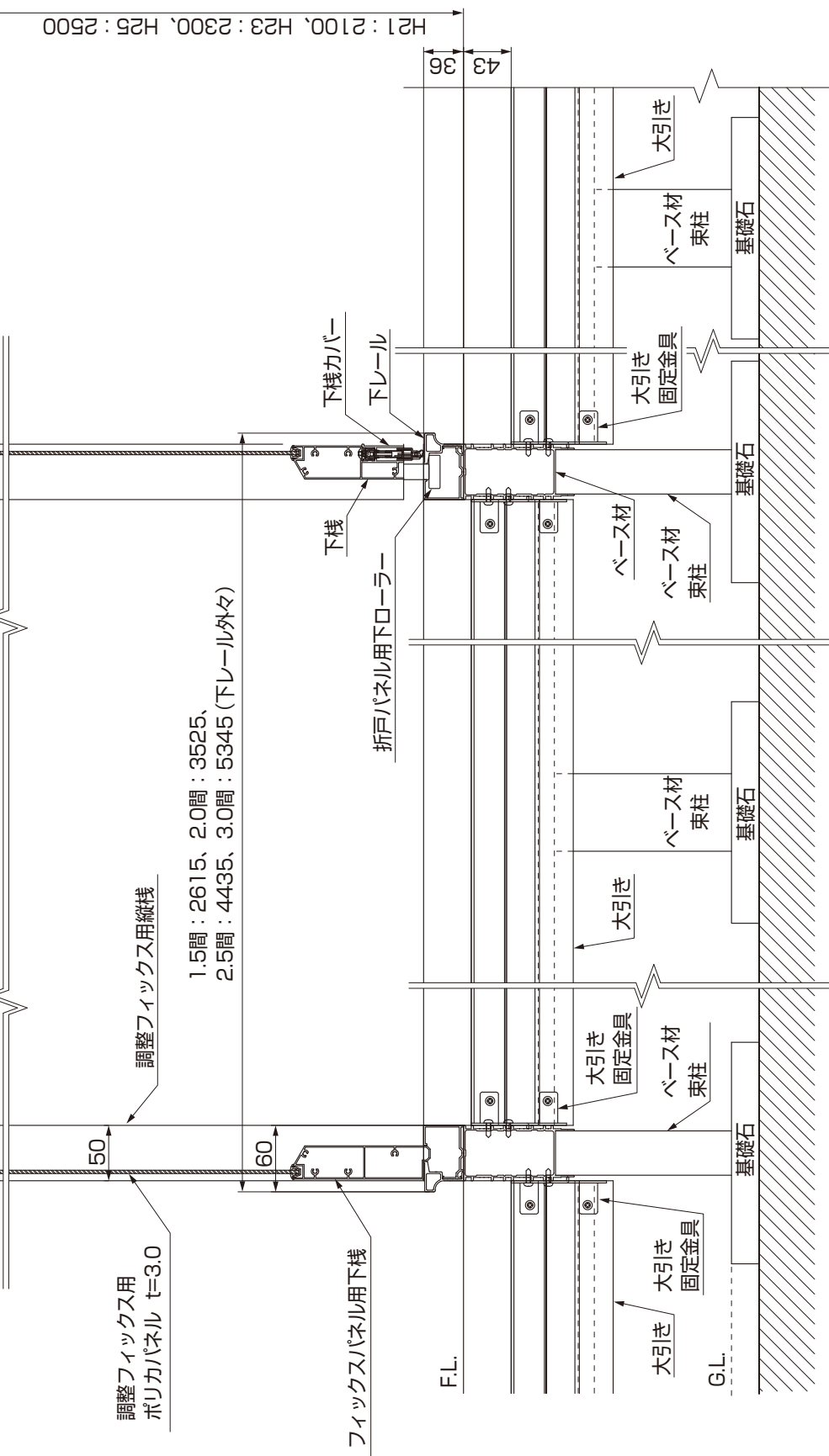
ポイント

●3尺単独施工の場合、側面側に折戸パネルは使用せずに、ガラスフィックスパネル1枚と調整フィックスパネル1枚を使用します。

3. (つづき)

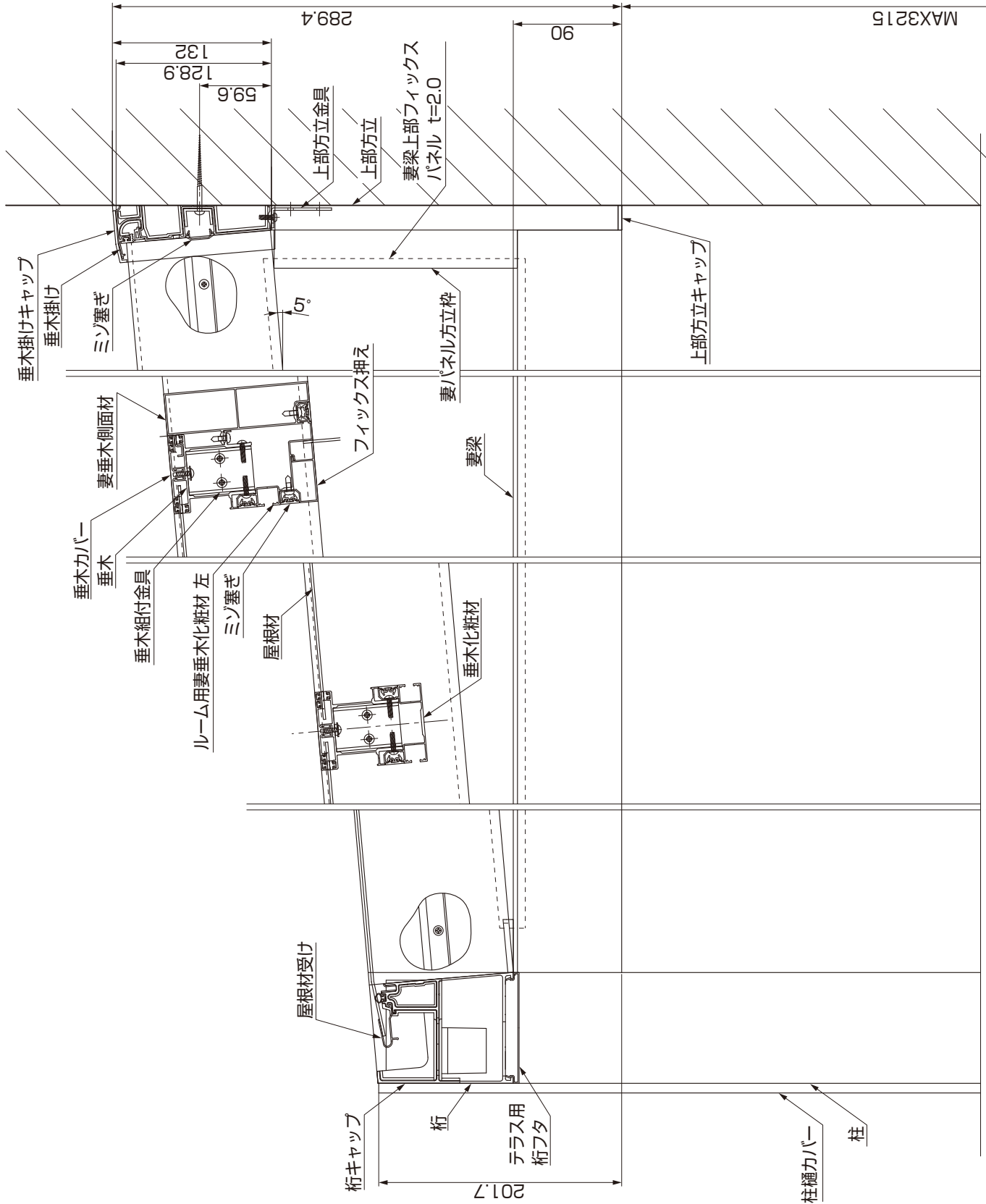
3-2 ルームタイプ間口断面納まり図

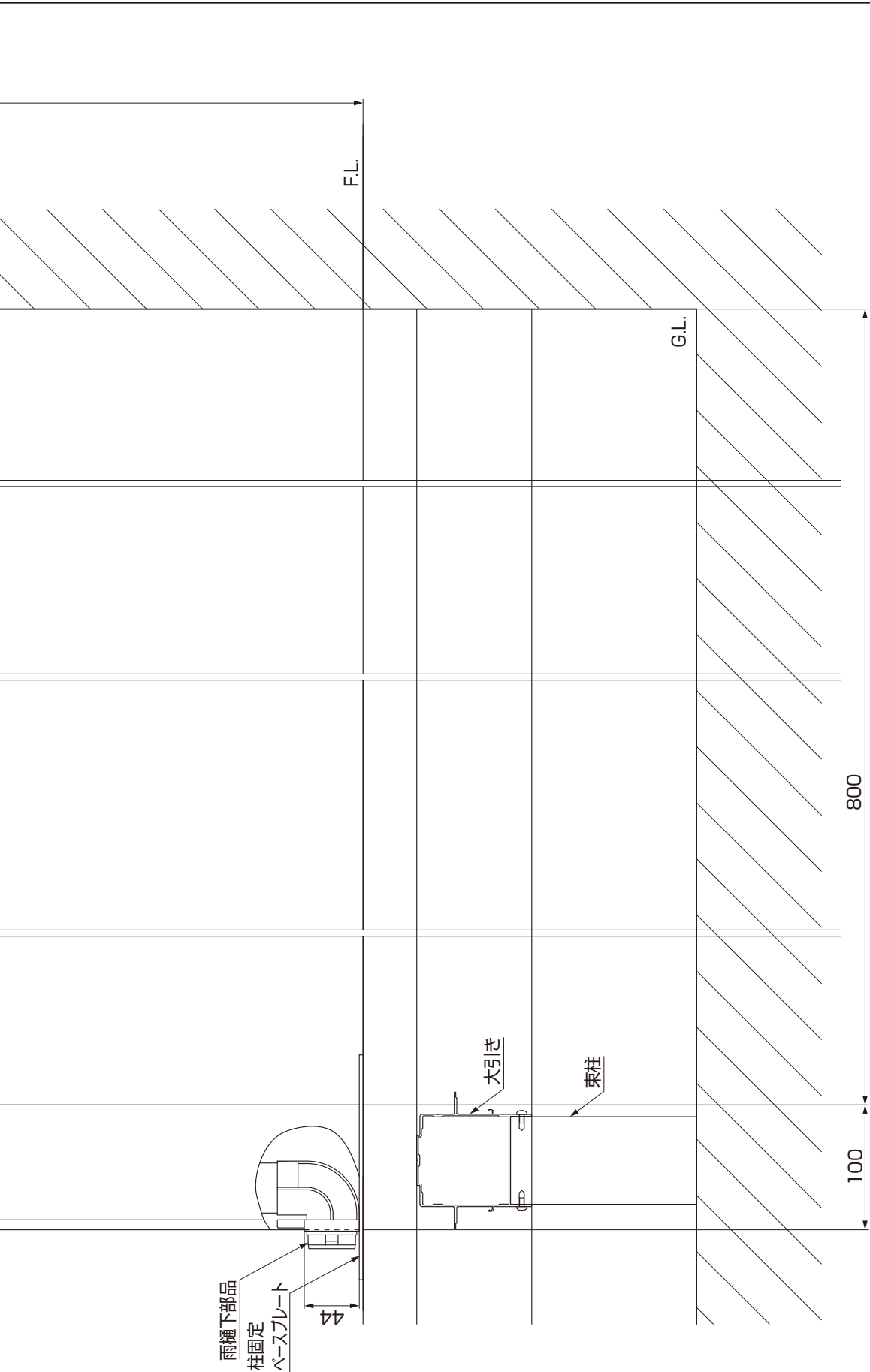




3. (つづき)

3-3 テラスタイプ出幅断面納まり図 (デッキ) (三角フィックス有り)





ポイント

●3尺単独施工の場合、側面側に折戸パネルは使用せずに、ガラスフィックスパネル1枚と調整フィックスパネル1枚を使用します。

4. 3尺単独施工に必要な事前加工

4-1 面材の切出し

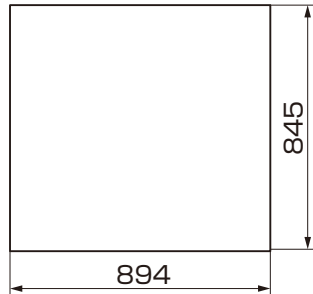


図4-1 屋根部

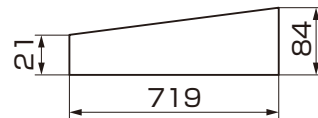
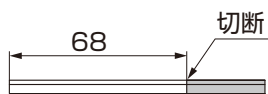


図4-2 三角フィックス部

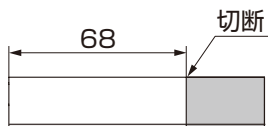
①図を参照して面材を必要分切出してください。

4-2 部材の加工 ※6尺用の妻梁セットと、3尺用の側面レールセットの部材が対象です。

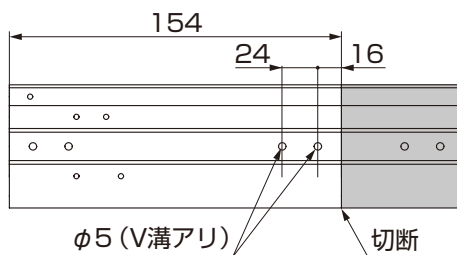
上部方立
グレチャン



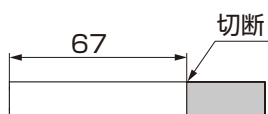
妻パネル
方立枠



上部方立



上部方立用
ミゾ塞ぎ

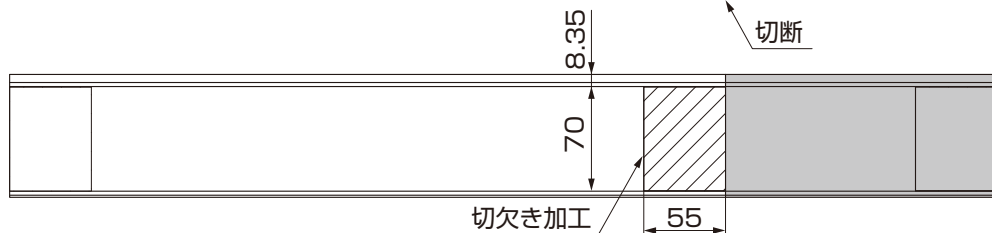
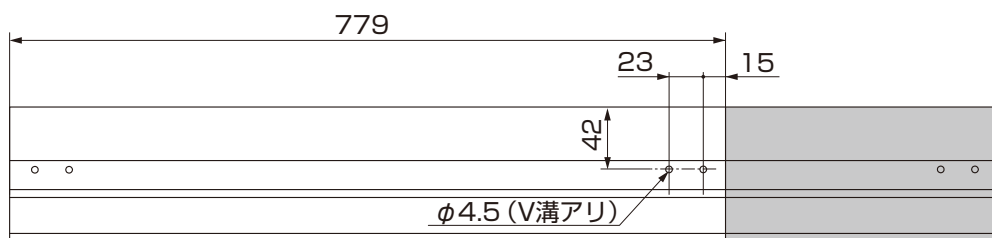
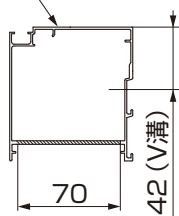


ポイント

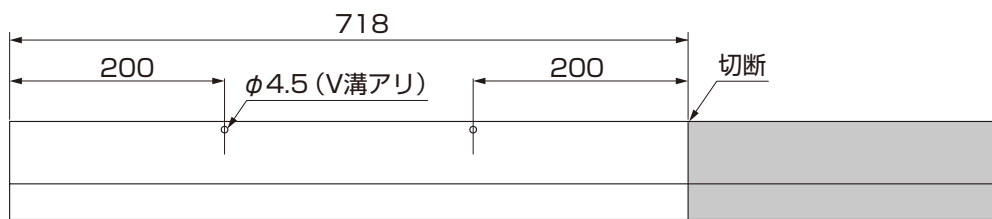
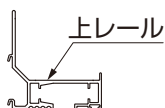
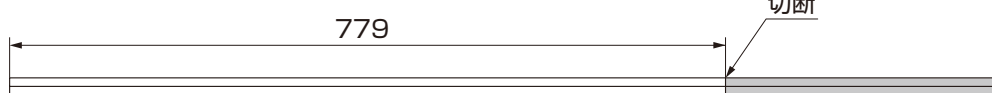
●上部方立は左側を示します。右側は図と対象です。

妻梁用
グレチャン

妻梁



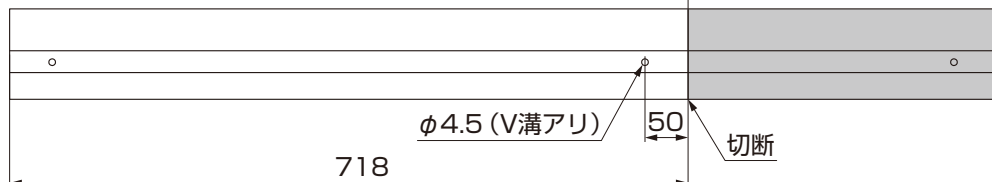
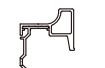
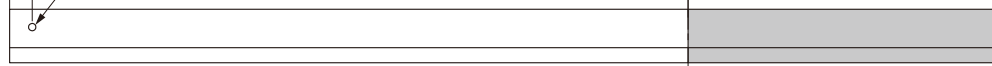
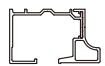
妻梁フタ



後の手順で
切断する部材(※1)



25 $\phi 5$ (V溝アリ)



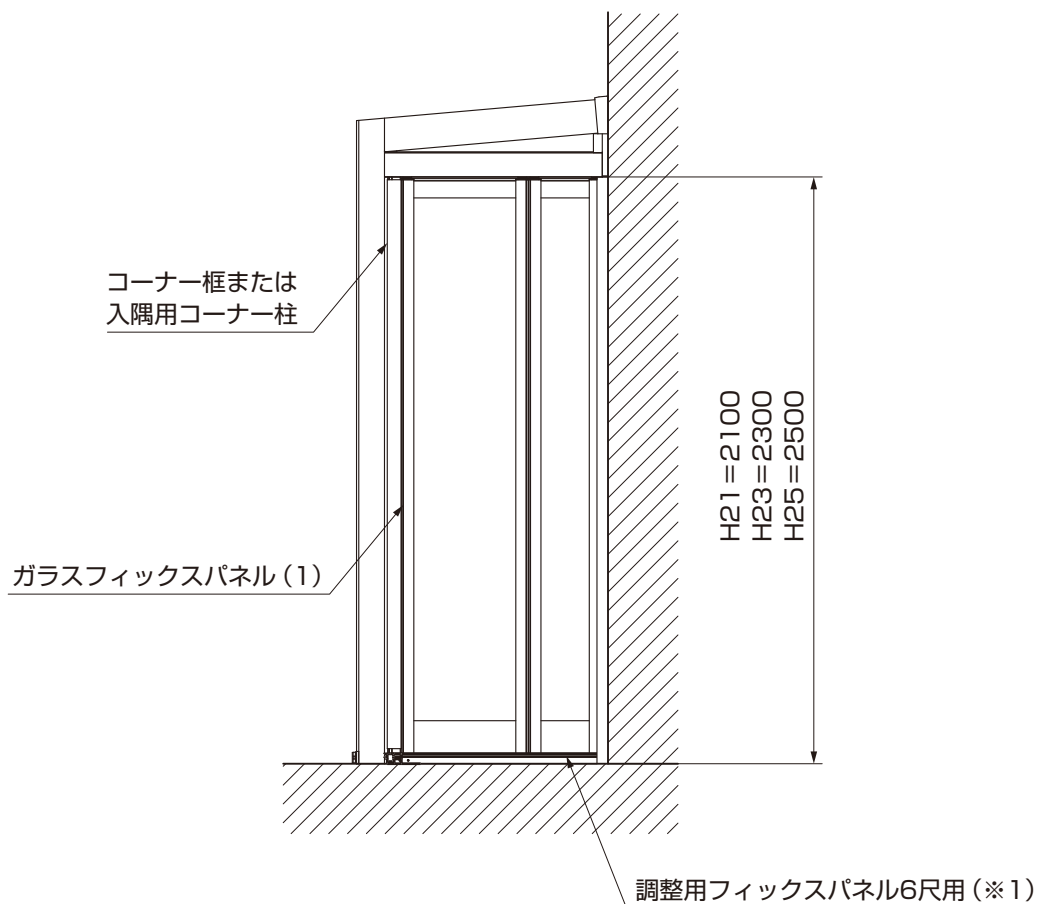
下レール

①図を参照して部材を加工してください。

ポイント

- 取付けは「自然浴家族ジーマ - 本体編 - (E273) 7 開閉パネルの取付け 5. 上レールの取付け、6. 下レールの取付け」を参照してください。
- 上レール、下レールは、切断加工することで左右がでます。切断・加工は対称になるように作業してください。
- 下レールは、2部材が組合わさっています。※1の部材は、後の手順で躯体側の傾きを確認してから切断します。

5. 側面パネルの納まりについて



①調整用フィックスパネル6尺用(※1)を40mm切詰めてください。

ポイント

- 正面パネルの納まりは、6尺・8尺の自然浴家族ジーマと同じです。
「自然浴家族ジーマ 本体編 - (E273) 7 開閉パネルの取付け 6. パネルの建込み 6-4 パネルの吊込み、
6-5 連棟タイプの場合のパネルの吊込み」を確認してください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

